

令和5年度 第2回岐阜市立図書館協議会 議事概要

日 時：令和5年11月13日（月）午後1時30分～3時00分

場 所：みんなの森 ぎふメディアコスモス 第一会議室

出席者：【会場 8名】久世均委員（会長）、浅井彰子委員、大野正子委員、神尚喜委員、
いずみ凜委員、小野寺華委員、多田知美委員、棚村勇夫委員

【オンライン2名】高橋綾子委員（副会長）、平賀研也委員

【欠席4名】河合美佐子委員、門屋伸子委員、市村有希子委員、嶋田学委員
（事務局）吉成総合プロデューサー、長尾館長、野々山係長、土谷係長、
富長係長、川瀬係長、塩谷係長

傍聴者：なし

議事概要：

■報告や事務局提案に対する委員からの意見

（1）岐阜市立図書館の読書バリアフリーへの取り組みについて

- ・ バリアフリーへの取り組みについて難しいのは PR だと考える。視覚障がいのある方については、眼科の医療機関等と連携、また障がいの当事者団体と連携し PR を行うといった方法がある。
- ・ 行っているサービスをただ PR すればよいという問題でもないと思う。まずは障がいをお持ちの方の実態を把握することが必要であり、それぞれに合わせたサービスを提供できるようにする。
- ・ 大学などでは、聴覚障がいの学生など目に見えない障がいを持つ学生が多く在籍しており、そうした学生に対してどういった配慮ができるかという問題がある。図書館としては、障がいとともに社会をどう生きていくかという点においての情報提供が必要だと感じる。
- ・ 障がいをもった方が図書館へふらっと訪れてゆっくりできる場所や、そうした方に対して職員が補助する取り組みがあるとよいと思う。
- ・ 対面読書の部屋など図書館で行っているサービスの使い方の周知を充実させることで障がい者の方にとってより利用しやすい図書館になるのではないか
- ・ そもそも利用者の方が成長過程の中で本とどう触れ合ってきたのか、どのような経験をしたのかという過程を知ることが重要であると感じる。そして今後多くの方にサービスを利用してもらえるよう、LL版の本や絵本などを持って、外に出向いていくような取り組みが必要である。また、おはなし会などのイベントで図書館職員やボランティアと知り合いになることができるというのが良さだと感じる
- ・ 例えば盲学校へ図書館側から出向くだけでなく、図書館を見学できる図書館ツアー

一や、朗読の会などがあるとその後、そうした子どもたちが図書館へ来館しやすくなるのではないかと思う。

- ・ 発達障がいの方で大きい声を出すという特性をお持ちの方もいらっしゃるため、図書館で大きい声を出してもよいと仕組みづくりも進めていくとよいと思う。
- ・ 子供は大人の口元を見て、その口の形を真似した言葉を覚えていくため、口元をいっぱい見せてあげてくださいとお願いした時期があった。この図書館でも子供たちの言葉を育てていくような、プロジェクトもやってほしいと思う。

(2) 岐阜市立中央図書館の開館10周年に向けて

- ・ 図書館で読書介助犬を入れて、声を出しにくい子供たちや本読みを上手にできない子供たちが、人ではなく犬に聞いてもらう読書会をしてはどうか。
- ・ デジタルでは味わえない人とのコミュニティなど、デジタルとリアルを共存させていくことが大切であり、メディアコスモスはリアルな場所としてみんなで創り上げていくものだと思う。
- ・ 新たなものを作り出すというところにどうつなげていくかというのは読解力では非常に大切であるため、そうした力を身に着けられるような企画を行ってほしい。
- ・ メディアコスモスは実体験をして、何かを創り上げて行く場所として存在する意義があると感じた。
- ・ 子どもたちに本の魅力をどうしたら大人が伝えることができるかと日々考えている。子どもたちが本を読んでもくれるような取り組みをしてほしい。
- ・ ユニバーサルミュージアムというすべての展示物を触ってもよい彫刻などが置いてある美術館がある。図書館においてもそうした展示を行うと、今よりも障がい者の方が行ってみようかなと思える場所になると思う。
- ・ 本を読むのが難しい人もいるため、滞在型の図書館として過ごした時間が記録として残されている取り組みは良いなと感じた。
- ・ 子供たちが主となって何かを作り出す企画を行うとよいのではと思う。例えば子ども司書に今までのイベントをまとめた映像を作成してもらおう等、未来を創っていく子どもたちと一緒に盛り上げていく企画を考えては良いのではないかな。
- ・ 「平和」など何かテーマを一つに決めて、色々な今取り組まれている企画や事業を組み込み作っていくとよいのではと思う。
- ・ 市民がメディアコスモスでどんなことをしたいかという思いがメディアコスモスを創っていくと思う。市民がやりたいことを実現させる、実現できる場所としてメディアコスモスは運営していければよいのではないかなと思う。